

● 町民の広場 ●

ぼくの夢・私の夢

『ぼくの夢』



野方小学校 6年
森重 圭一朗

ぼくの将来の夢は、らく農家のお父さんの跡を継ぐことです。ぼくは、動物が好きです。その中でも、特に好きなのが牛です。だから、大人になったら、絶対らく農をやりたいです。そのために、高校や大学に行つてしっかり勉強したり、うちの手伝いをしながら分からないことはお父さんに聞いてしっかり教えてもらったりしていきたいです。らく農家は、朝早く起きて仕事をします。でも、ぼくは早起きが苦手で、いつもお母さんに起こされています。らく農家には早起きが大事なので、生活態度を改めていきたいです。

ぼくは、今でも、休日や夏休みなどによく手伝いをします。牛の世話をするのは大好きです。でも、苦手なことが二つあります。一つ目は、さく乳です。さく乳の時は、牛の乳に乳しぼりの機械をはめないといけません。でも、乳にはめる時、牛からこれそうでちよつとこわいです。

二つ目は、放牧です。放牧の時、大きな牛に押されて、さくと牛の間にはさまれたことがあります。それが頭に残つていて、放牧する時こわくなつてしまいます。でも、全部の仕事ができないといけないので、こわさを乗り越えてがんばらないといけません。そのために、さく乳の時は、けられない位置でこわがらないで牛にさく乳機をはめる練習をしたいです。放牧の時は、牛の動きをよく見て勇気を持つてできるようにしたいです。

ぼくは、できないことは、お父さんにどんどん聞いて、できるようになりたいです。学校の勉強もしっかりがんばつて、立派ならく農家になって、少しでもお父さんに榮をさせてあげたいです。そして、この気持ちを持って明日からの学校生活をがんばつていきたいです。

『私の夢』



野方小学校 6年
中村 明日香

私の夢は、私が大人になるまでに平和な世界になつていくことです。

社会科で歴史の勉強をして、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。学習発表会では、戦争中の日本の人々の生活をテーマにした平和劇をみんなで演じました。「戦

争はいやだ。平和な世の中が絶対いい。」と思いました。「硫黄島からの手紙」という映画を見たときも、同じことを思いました。戦争のことを学習する中で「最悪だ。」と思つたのは、核兵器です。でも、冬休みに旅行したときに、核兵器をなくすための署名を断つている人達がいきました。私は、どうして断るのか信じられませんでした。急ぐならともかく、普通に買い物していた人だったら署名できるんじゃないかなと思ひました。私が大人だったら絶対署名します。

戦争や核兵器の問題だけが平和の問題ではなくて、ふだんのニュースで報道されている殺人事件や強盗など身近にある悲惨な出来事も一人一人が考えていかなければいけない問題だと思ひます。殺人事件は、人間が悪意を持つて一人の人生を終わらせることです。戦争と同じように許せないことだと思ひます。

今、世界にはおよそ七十億人の人がいます。その中で知り合いになれるのはほんの一握りの人達です。知り合った人達の中には、気に入らない人や気が合わない人も出てくるかもしれません。実際私も、好きな友達もいれば、気が合わない人もいます。でも、多くの人がいれば最初からうまくいかないことが当たり前です。おたがいに違いを認め合つて、どうすればいい関係を作つていけるのかをみんなで考えていければいいなと思ひます。世界中でそんな関係づくりができれば、平和な世界になつていくんじゃないかと私は思ひます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様が幸福な年でありますようお祈り申し上げます。

さて、昨年三月に発生した東日本大震災は、人と人の絆の深さを改めて気づかされました。近い将来、私達の地域も大震災が起ると言われます。

今後実施される避難訓練等に積極的に参加し、自分の命は自分で守れるようにしていきたいものです。

議会も改革に取り組んでいます。活力ある豊かな地域づくりと町民の福祉向上を目指して「大崎町議会基本条例」を制定（平成二十四年一月一日施行）し、一層開かれた身近な議会を目指していきます。

議会に対していろんな意見があらましたら、議会事務局までお知らせください。ここに、議会だより122号をお届けいたします。

広報編集委員 神崎 文男

発行責任者 大崎町議会議長

中倉 毅